

NO.215

令和6年12月1日発行

3月

6月

9月

12月

定例会は年4回

市議会だより

くるめ

GIKAI TIMES

特集

もっともっと、
子どもの声を聴こう

令和5年度決算審査を振り返る

もっともっと、子どもの声を聴こう



皆さんは、日常的に若い世代の人たちとの接点や交流はありますか？若い人たちの話を聴いていますか？

久留米市では「こどもまんなか社会^{※1}」や「ずっと住み続けたいまち」の実現に向けて、市や議会、家庭、学校、企業、事業所、NPOなどが、それぞれの立場で取り組んでいます。

その中で、将来のまちづくりの担い手である子どもや若者の、新しい視点や未来志向の考えが、とても重要です。

今回の特集では、市議会と若い世代との関係を考えます。

一人ひとりの市民の声を聴くことがスタート

市議会は、市民に寄り添い、一人ひとりの声を聞き、市（執行部）に伝えることで、市の政策や事業に反映させ、住みよいまちづくりを推し進めています。

現在の36人の議員は、31歳から75歳までと、幅広い年齢層で構成されています。バックボーンや職業歴もさまざま、議員それぞれの持ち味を生かした議会です。それは、全ての市民の多様な意見を聴き逃さないため。

そして、「全ての市民」には、当然、選挙権を持たない18歳未満の子どもたちも含まれます。例えば、「子ども議会^{※2}」を開催するなど、子どもたちの声も聴き逃さない姿勢や、些細な声も拾い上げていくという覚悟が必要だと思っています。



高校生の意見に感心する議員

学生の視点や発言に議員がドキッ！

これまで市議会では、市議会だよりの巻末ページの「なげなげ学生さん」や前企画の「学生質問帖」を通じて、久留米市内の高校を訪問し、学生たちと直接対話してきました。

普段感じていることを素直に表現したり、議員が言葉に詰まるほど鋭い質問をしたりと、学生たちの豊かな感性に感動させられました。

そして、必ずこの対談で話題になるのが「久留米市



「なげなげ学生さん」でざっくばらんに意見交換する高校生と議員

が持つ課題」です。学生の皆さんの声は、とても率直でリアルです。

同時に、「こうすればもっと住み続けたいまちになるのに」といった、生まれ育った久留米市が好きだからこそ、前向きな意見が出てきます。その声を聞かずに「なんとかしなければ」という思いに奮い立たされます。

※1 こどもまんなか社会・・・子どもや若者の権利が保障され、健やかな成長が社会全体で後押しされることで、将来にわたって幸せに生活できる社会。2023年に発足した「こども家庭庁」が実現を目指している。

※2 子ども議会・・・子どもの意見を聴き、市政等に反映させることが目的。子どもが議員役となって模擬議会を行うなど様々な形式がある。併せて、子ども自身が社会の一員であることを認識する機会とするとともに、子どもに市政等についての情報を提供する場でもある。

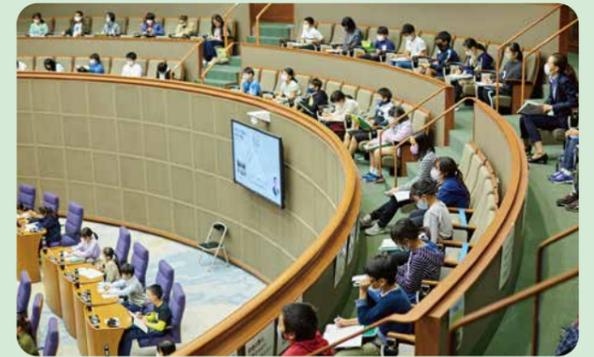
もっと子どもの声に耳を傾ける場を

その経験から、未来を担い、社会をつくっていく子どもや若者が、自由に意思（意見）を表現し、社会のあり方について考える場所が必要だと考えます。

将来のまちづくりの担い手であり、開発者であり、消費者でもある子どもたちの言葉は、多くの示唆に富み、そこには未来の生活のヒントが含まれているはず。私たちは、子どもたちの言葉を、未来につながる具体的な取り組みに変換させる必要があるでしょう。

子どもたちの幸せは、それだけで大人の幸せです。子どもたちが幸せであるということは、子どもと大人の関係が良好だということ。その子どもたちが大人になった時には、全ての世代が良い関係となり、それは全ての市民の幸せにつながることになるのではないのでしょうか。

私たちは、もっともっと子どもたちの話に耳を傾けていきます。



地元の小学生を議場見学に招待。目を輝かせ、積極的に議員に質問する姿が印象的だった（2020年開催）



地元の小学6年生を招いて実施した「子ども議場見学」の様子は市議会だよりのくるめの200号をご覧ください。



200号はこちらから

日本の子どもの幸福度は低迷

日本の子どもの幸福度は、先進38ヶ国中20位（総合順位）。分野ごとに見ると、右の表のように身体的健康は1位でありながら、精神的幸福度は37位とほぼ最下位。この結果や、ひとり親家庭の子どもへの貧困率の高さなどがきっかけとなり、こども家庭庁が設立されました。

子どもの幸福度の結果：日本の分野別順位

分野	指標
精神的幸福度 (37位)	生活満足度が高い15歳の割合 15～19歳の自殺率
身体的健康 (1位)	5～14歳の死亡率 5～19歳の過体重／肥満の割合
スキル (27位)	数学・読解力で基礎的習熟度に達している15歳の割合 社会的スキルを身につけている15歳の割合

ユニセフ（国連児童基金）2020年「子どもたちに影響する世界」

こどもの声を聞いて、動こうとしている市町村が急増中！

愛知県豊田市や山形県では、子ども条例に基づき、子どもの意見や考えを聴くための「子ども会議」が開催されています。豊田市の「子ども会議」では小学生5年生から高校生までの「子ども委員」が、地域の中での体験を通して、自分たちにできることを考え、取り組んだ内容について発表しています。





山下委員長



中村副委員長と

令和5年度決算審査を振り返る

令和5年度は「人・まちを守り 未来へつなぐ」予算を編成し、「安心・安全のまち」「活力のあるまち」「生き生き生活できる、活躍できる共生のまち」という3つの視点に基づいた当初予算が編成されました。その後、7月に発生した豪雨災害の支援や、物価高騰による負担を軽減するため、計13回の補正予算が組まれました。その決算に対し、議会は「令和5年決算を令和7年度の予算編成にどう生かすか」という視点で審査しました。

決算審査を振り返って

限られた予算をどう使うのか

中村 令和5年度は久留米市内のほぼ全域で豪雨による被害が発生しました。私も水害が常習的に発生する地域に住んでいますし、そこに対する予算はしっかり確保するべきだと思います。ですが、そこに予算を費やすが故に、他のサービスが手薄になっていないか、これはチェックする必要があります。限られた予算の使い方を考えるため、令和7年度の予算審査ではしっかり議論していくべきだと感じました。子どもの支援について、熱く質疑が交わされた点は、良かったと思います。

水害対策は中身と使い道が大事

山下 市長は、久留米市を「日本を代表する災害対策モデル地区」にしたいという考えが強くあります。その考えには賛同しますが、全体的な中身や使い道が大事ですね。パフォーマンスにならないよう、実のあるものにしなければいけない。議会はそこを精査していく必要があると思いました。

議会として大事にしたいこと

議会はもっと一枚岩に

山下 人口30万人の中核都市で、地域性も多様な久留米市には、地域ごとに課題があります。そのため、議員の支援者の層もさまざま、力を入れたい政策も多様です。市議会として、年齢や会派の枠を超え、多様な議員のパワーを集積して、市議会が一枚岩になれば、大きな力となります。そうして執行部(市)と前向きな議論をし、政策を実現するよう、取り組んでいくことが大切だと思います。



多様な議論のためには若手議員がカギ

山下 今回、決算の内容にも増して、議会全体で新しい議員の動向がカギだと感じました。

中村 昨年の選挙で久留米市議会の議員は7人の新人議員が当選し、年齢も若返りました。現在は、1期、2期の議員が36%を占めています(36人中13人)。これから執行部と、多様な視点で、かつ多角的にしっかり論戦を交わしていく上で、若手議員の感覚は大事だし、それを生かすために、経験豊富なベテラン議員による助言や、学びの場が必要だと思います。

山下委員長・中村副委員長のまとめ

現市長は、私たちの追求に対し、大変率直に答えてくれます。計画にないことは「考えていない」とはっきり言われます。はっきり言われると引き下がりそうになりますが、本当に必要なことなら、考えを変えさせるぐらいの説得力を持って、議論を挑まなければいけません。そのためにも、市民の皆さんのお話をしっかり聴くなど、私たちは学び続ける必要があります。市民の皆さんの代弁者であることを忘れず、市議会一丸となっていきたいですね。

令和6年 9月定例会

農業のDX化支援を含む補正予算などを可決

主な審議事項

- 令和6年度一般会計補正予算(第3号)
 - ・農業分野のDX推進のためスマート農業機械導入経費の一部助成、就職氷河期世代のため職業訓練の支援費用、昨年7月の土砂崩れにより被災した竹野地区の消防団格納庫の移転・再整備費用、合併処理浄化槽設置整備事業費補助金の増額など
- 印鑑条例、国民健康保険条例、個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例など
- 令和5年度決算



議案の議決結果と賛否の状況はP7へ

9月定例会の経過 会期 9月3日から10月18日の46日間

- 第1日**
 - 会期の決定(46日間)
 - 市長から一般会計補正予算(第3号)など11議案の提案説明
- 第2日～第5日**
 - 一般質問(P8～9へ)
 - 議案の質疑、各常任委員会へ議案等を付託
- 常任委員会**
 - 総務・教育民生・経済・建設の4常任委員会で議案等を審査(P6へ)
- 第6日**
 - 各常任委員会の議案審査結果報告があり、全ての議案を可決
 - 人事議案3件が追加提出され、市長から提案説明の後、全ての議案に同意
 - 令和5年度決算など15議案が提出され、市長から提案説明、議案質疑の後、決算審査特別委員会に付託
- 決算審査特別委員会**
 - 令和5年度一般会計など決算13議案及び決算関連2議案を審査(P4へ)
- 第7日**
 - 一般会計補正予算(第4号)議案が追加提出され、市長から提案説明の後、総務常任委員会で審査後、議案を可決
- 第8日**
 - 決算審査特別委員長が決算審査特別委員会の審査経過などを報告、全ての議案を認定または可決

請願	件名	付託先	審査状況
	久留米市第3次公立保育所運営再編計画(案)について	教育民生常任委員会	継続審査

同意した人事案件

市長が任命、選任または推薦する人事で、議会が同意した案件です。

- 教育委員会委員 内村 直尚
- 人権擁護委員 稲益 都美子、高口 久、坂井 豊、平良 眞理子、田島 肇、久光 廣介

※ 敬称は全て省略しています。

pick UP!

議案審査の概要

市長から提出された議案を、それぞれ所管の常任委員会で詳しく審査しました。主な議案審査の内容をお知らせします。

総務常任委員会

可決

印鑑条例の一部を改正 (第90号議案)

市役所等の窓口で印鑑登録証明書を取得する際に、マイナンバーカードの提示のみで取得できるようにするために、条例の一部を改正するものです。

審査の中で、こんな質問をしました

- Q もっと早くマイナンバーカードのみで印鑑登録証明書を取得するようにならなかったのか。
- A 先行して実施しているコンビニでの取得や、近隣自治体の状況を検証した結果、窓口でもマイナンバーカードのみで取得できる環境が必要と判断し、今回のタイミングになった。

経済常任委員会

可決

スマート農業機械導入費用を増額 (第86号議案)

燃料や農薬使用量の低減や、省力化につながるスマート農業機械の導入を支援するために、1億1,822万円を増額補正するものです。

審査の中で、こんな質問をしました

- Q 補助の対象となるスマート農業機械の種類と、その要件は。
- A 対象機械は、ロボットコンバイン、ロボット田植機、農業用ドローン等を想定している。補助要件は、導入5年後の経営面積を2割以上拡大すること等である。スマート農業機械の導入により、経営面積の拡大につなげることを目標としている。

教育民生常任委員会

可決

国民健康保険条例の一部を改正 (第91号議案)

国民健康保険法の改正で、現在の被保険者証の発行が12月2日に廃止されます。その後はマイナンバーカードを保険証として利用するために、条例の一部を改正するものです。

審査の中で、こんな質問をしました

- Q 現在の被保険者証は、有効期限[※]まで使用できるが、マイナンバーカードを取得していない場合、期限後はどうなるのか。
- A マイナンバーカードを取得していない方には、被保険者証の有効期限が切れる前に「資格確認書」を送付する予定。資格確認書を医療機関等で提示していただくことで、これまでと同じように受診できる。

建設常任委員会

可決

リバーサイドパークに堆積した土砂撤去費用を増額 (第86号議案)

令和6年6月の降雨で被災した河川排水路のり面の復旧に200万円、リバーサイドパーク内に堆積した土砂などの撤去に760万円を増額補正するものです。



土砂が堆積したリバーサイドパーク

※1 発行済の国民健康保険被保険者証の有効期限は、最長で令和7年7月31日まで。

常任委員会の録画映像を配信中

久留米市議会では、常任委員会で行われている議案の審査や所管事務調査[※]の録画映像をYouTubeで配信しています。開催日のおおむね1週間後から見るができます。ぜひ、ご視聴ください。

※ 所管事務調査・・・委員会が所管する市の部局の施策や課題について調査すること。



久留米市議会
公式YouTubeチャンネル

議案の議決結果

全員賛成で可決・承認・同意・認定した議案

令和6年9月25日議決分

- 第87号議案 令和6年度久留米市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 第88号議案 令和6年度久留米市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 第90号議案 久留米市印鑑条例の一部を改正する条例
- 第92号議案 久留米市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
- 第93号議案 久留米市無料低額宿泊所の設備及び運営の基準に関する条例
- 第95号議案 久留米市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例
- 第96号議案 久留米市中小企業融資制度に係る中小企業者等の事業の再生のための措置に関する条例の一部を改正する条例
- 第99号議案 久留米市表彰条例に基づく表彰について
- 第100号議案 久留米市教育委員会委員の任命について
- 第101号議案 人権擁護委員候補者の推薦について

令和6年10月7日議決分

- 第102号議案 令和6年度久留米市一般会計補正予算(第4号)

令和6年10月18日議決分

- 認定第3号 令和5年度久留米市競輪事業特別会計決算の認定について
- 認定第4号 令和5年度久留米市卸売市場事業特別会計決算の認定について
- 認定第5号 令和5年度久留米市市営駐車場事業特別会計決算の認定について
- 認定第7号 令和5年度久留米市農業集落排水事業特別会計決算の認定について
- 認定第8号 令和5年度久留米市特定地域生活排水処理事業特別会計決算の認定について
- 認定第10号 令和5年度久留米市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計決算の認定について
- 認定第11号 令和5年度久留米市産業団地整備事業特別会計決算の認定について
- 認定第12号 令和5年度久留米市水道事業会計決算の認定について
- 認定第13号 令和5年度久留米市下水道事業会計決算の認定について
- 第97号議案 令和5年度久留米市水道事業剰余金の処分について
- 第98号議案 令和5年度久留米市下水道事業剰余金の処分について



9月定例会での採決

賛否が分かれた議案

議案名	会派名	久留米 たすき	きすな	公明党	立志会	みらい 久留米	緑水会	日本 共産党	日本 維新の会	議決 結果
令和6年9月25日議決分										
第86号議案	令和6年度久留米市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第89号議案	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第91号議案	久留米市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
第94号議案	久留米市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
令和6年10月18日議決分										
認定第1号	令和5年度久留米市一般会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
認定第2号	令和5年度久留米市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
認定第6号	令和5年度久留米市介護保険事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
認定第9号	令和5年度久留米市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

会派名の()内の数字は所属議員数です。ただし、きすな議員団は議長を除きます。議長は表決に加わりません。

賛成は「○」、反対は「×」、退席は「退」と表記しています。

会派名: 久留米たすき(久留米たすき議員団)、きすな(きすな議員団)、公明党(公明党議員団)、立志会(立志会議員団)、みらい久留米(みらい久留米議員団)、緑水会(緑水会議員団)、日本共産党(日本共産党久留米市議員団)

みらい久留米: 欠席者が1人いたため、表決に参加したのは3人



議員個人の賛否の状況はホームページでご覧いただけます

久留米市議会
「議案と結果」

ここが知りたい 一般質問 個人質問

【個人質問とは?】議員個人が議案以外の市政について行う質問のことをいいます。9月定例会で行った質問の一部を紹介します。

きずな

健康・福祉



石井 秀夫

Q JR久留米駅の喫煙所設置を国の通知※1や関係者の声などを踏まえ、検討すべきでは
A 過去に設置要望があった際、関係者間の協議がまとまらなかった経緯がある。受動喫煙防止対策については、関係者の理解と協力が不可欠。協力体制が整い、要望などがあれば改めて検討する。

その他の質問…未来を担う子どもたちの教育環境と小学校の統合など

公明党

健康・福祉



田中 功一

Q 市の窓口に軟骨伝導イヤホン※2をできるだけ早く導入すべきでは
A 窓口でのコミュニケーションをどう確保していくのか、聞こえ方に個人差がある中で、様々な選択肢を持って対応していく必要がある。有効性は認識しており、試行的な導入に向けて検討したい。

その他の質問…民間活力を取り入れた市営住宅の空き住戸活用など

立志会

教育・子ども



堺 太郎

Q 民法等改正※3に伴い、離婚後等の親子交流に対する支援策を導入すべきでは
A 親子交流は、子どもにとって望ましい形での実施が重要。しかし、当事者のみでは安全・安心な交流が難しいケースもあると認識している。今後、先進事例の調査研究などを行い、必要な支援を検討する。

その他の質問…学校における金融リテラシー教育など

日本共産党

教育・子ども



金子 むつみ

Q 「自治体の保育実施義務※4」を直接果たす公立保育所が減少※5することをどう考えるか
A 保育実施義務の履行には、公立で自ら実施するか、私立への委託を選択する形がある。本市では多くを委託する形で、保育を行っている。公立と私立を併せて、適切に保育実施義務を果たしていると考えます。

その他の質問…公立保育所の位置づけなど

立志会

教育・子ども



長野 哲

Q 中学校の歴史教科書採択の公平性・透明性確保についての認識と取り組みは
A 教科書採択は学習内容のわかりやすさや生徒の実態などを踏まえ採択しており、公平性・透明性は確保されていると認識。採択結果などの説明責任は重要であり、情報公開制度に基づき公開している。

その他の質問…新型コロナワクチンの接種履歴の保管など

公明党

商工業・農業



山下 尚

Q 事業者の支援ニーズが多様化し、商工団体の業務が増えている。市独自のさらなる支援は
A 商工団体が担う役割の増加は認識している。パート職員等の経費を対象とした県の補助に、市独自で20%上乗せするなど、支援は近隣自治体より充実しており、現段階での、さらなる支援は考えていない。

その他の質問…市立小学校統合後の地域コミュニティなど

みらい久留米

商工業・農業



秋永 峰子

Q イノシンなどの有害鳥獣による被害対策のこれまでの成果と、現在の課題は
A 侵入防止柵の設置支援や鳥獣被害対策実施隊員※6などによる捕獲に取り組み、農作物の被害額は平成23年度のピークから約1/3に減少した。課題は、更なる被害軽減や鳥獣の生息範囲の拡大への対応である。

その他の質問…労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針の周知など



侵入防止柵

久留米たすき

文化・観光



そうだ 耕一郎

Q 観光の観点から、現状で考えられる屋台の振興策は
A 屋台は、営業日数や来客数の確保、周辺住民等の理解が必要なことなどから、観光面での活用は難しい。集客しやすい場所に移動できるキッチンカーの支援に取り組むことで、にぎわいの創出につなげたい。

その他の質問…ニューロダイバーシティ推進によるギフトへの支援など

緑水会

防災・安全



吉武 憲治

Q 学校体育館を避難所とする場合、国の事業債などを活用したエアコン設置の見解は
A 設置が緊急防災・減災事業債※7の対象となることは認識しているが、優先順位や財源効率等を含め、総合的な判断が必要である。現在は、普段の使用頻度が高い中学校の特別教室への設置に取り組んでいる。

その他の質問…市立学校図書館教育における朝読書の取り組みなど



エアコンが設置された特別教室

きずな

防災・安全



古賀 としかず

Q 令和5年7月大雨災害から1年経過したが、田主丸地域の都市施設※8の復旧状況は
A 令和6年の出水期※9前までの完了を目指し、本復旧に取り組んできた。都市施設の復旧は、令和5年度に約9割が完成しており、残りについても、令和6年度内の完了を目標に着手に取り組む。

その他の質問…コミュニティタクシーにおける運用課題など

久留米たすき

まちづくり・暮らし



甲斐田 義弘

Q 自治会活動等への参加促進に向けた「ボランティア活動ポイント制度※10」導入の考え
A ポイント制度は、新たな担い手確保や活動意欲の向上が期待できる一方で、登録者数の伸び悩みや費用対効果などの課題もあると聞いている。ポイント制度も含め、参加を促す取り組みを調査・研究していく。

その他の質問…熱中症対策での子どもが通う施設へのミストシャワー導入など

みらい久留米

まちづくり・暮らし



石田 眞一郎

Q 多文化共生※11 社会づくりをさらに進めるために旗振り役の部署が必要ではないか
A 外国人住民の生活する上での困りごとなど、課題やニーズを把握し、全庁で情報共有するなど連携を図っている。実施体制については、組織上の課題等を整理しながら、引き続き研究・検討していく。

その他の質問…市役所の年末開庁の現状など

※1 国の通知

令和6年4月1日付の総務省自治税局長通知。「望まない受動喫煙の防止」と「たばこ税の継続的かつ安定的な確保」の2つの観点から、地方自治体に対して、喫煙所の整備の積極的な推進を求めている。

※2 軟骨伝導イヤホン

耳の周囲の軟骨に振動を与えて音を伝える新しい仕組みのイヤホン。音漏れしにくく、大声での会話も必要なくなり、プライバシーが保てるのが特徴。加齢性難聴の軽度・中等度難聴の方に効果が見込める。

※3 民法等改正

子の養育に関する見直しや父母の離婚等に直面する子の利益確保など民法等の一部改正が行われた。親子交流に関しても規律を整備。令和6年5月、成立・公布。公布から2年以内に施行予定。

※4 自治体の保育実施義務

児童福祉法第24条第1項にて規程。「市町村は、認可保育所などにおいて保育しなければならない。」とされている。

※5 公立保育所が減少

令和6年6月策定の「久留米市第3次公立保育所運営再編計画」において、公立保育所の民間移譲などが計画されている。

※6 鳥獣被害対策実施隊員

鳥獣による農作物等の被害防止施策を適切に実施するために市が設置した鳥獣被害対策実施隊の隊員。対象鳥獣の捕獲や侵入防止柵の設置指導などに従事。

※7 緊急防災・減災事業債

東日本大震災等を教訓として、防災インフラの整備など、地方単独事業を早急に進めることができるよう国が創設した借入れ。

※8 都市施設

道路、河川など、都市での生活を支え、市民の日常活動に必要な施設。

※9 出水期

集中豪雨、台風等により洪水が起こりやすい6月1日から10月31日までの期間。

※10 ボランティア活動ポイント制度

アプリを通じて自治体や地域コミュニティ組織などが募集するボランティア活動に参加するとポイントが付与される。ポイントは景品や公共施設の割引などに交換できる。

※11 多文化共生

国籍、民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

一般質問は、久留米市議会ホームページの「インターネット議会中継」でご覧いただけます。また、過去4年分の録画映像を見ることができ、議会の日程や議員の名前、キーワードで検索できます。議会中継(録画)



常任委員会 活動レポート

常任委員会では、議案の審査だけでなく、市民生活に深く関わることを調査研究する所管事務調査や、市民などから市議会へ要望等を申し出るために提出された請願の審査なども行っています。
今回は、7・8月の常任委員会の活動状況をお知らせします。

常任委員会の録画映像をYouTubeで配信しています。その録画映像にリンクするQRコードを掲載しています。ぜひご視聴ください。

総務常任委員会

久留米広域連携中枢都市圏の取り組み



久留米広域連携中枢都市圏^{※1}の推進体制や、観光・地域医療などの連携事業の取り組み状況について、総合政策課から説明を受けました。

Q 広域で様々な分野の事業を進めているが、圏域の住民ニーズを把握していたのか。住民のニーズを事業に反映するために、圏域内の住民の声を聞く機会を設けてはどうか。

A これまでは、各自治体や外部委員などの意見を事業に反映していた。圏域の住民の意見を直接聞く機会については、関係自治体とも意見交換をしていきたい。

その他のテーマ▶ 市民センター

経済常任委員会

上下水道事業経営戦略の中期改定



計画期間の前期3年を終了し、現状の分析や将来の見通し等を詳細に検証した上で実施する経営戦略の中期改定^{※3}について、上下水道部から説明を受けました。

Q 今回の中期改定の中で、ウォーターPPP^{※4}の取り組みをどう捉えているのか。

A これまでも官民連携を進めてきたが、国からの要請のもと、さらなる官民連携について、現在検討を進めている。なお、民間に事業を完全に移譲してしまうと、監理監督する技術や経験が失われてしまうため、市が担うべき役割を踏まえて、慎重に進めるべきと考えている。

その他のテーマ▶ 労働行政

教育民生常任委員会

認知症に関する施策



認知症施策に関する国の指針のほか、市の課題や、今後の取り組みについて、長寿支援課から説明を受けました。

Q 認知症カフェ^{※2}の本来の設置目的は、認知症の人や家族の交流や支援と学びの場だが、参加者のニーズに合わせて、予防を目的に運営されている事業所が多い。目的とニーズのギャップについて見解を。

A 認知症カフェの運営については、運営主体である市民団体間で勉強会も行われている。ご指摘の課題を共有し、認知症の人を含め、誰もが参加しやすく、参加したいと思える場になるように協議していきたい。

その他のテーマ▶ 市立小学校の小規模化への対応

建設常任委員会

浸水対策



市の浸水対策について、河川課から説明を受け、福岡県が進める金丸川・池町川流域の浸水対策工事現場で現地調査を行いました。



池町川第二放水路(仮称)築造工事現場

その他のテーマ▶ 建築物防災対策

※1 久留米広域連携中枢都市圏・・・国の連携中枢都市圏構想に基づき、平成27年度に連携協約を締結した久留米市、大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町の4市2町で形成される圏域。圏域の中核都市が近隣の市町村と連携し、人口減少・少子高齢社会でも活力ある社会経済を維持することを目指す。

※2 認知症カフェ・・・認知症の人や家族、地域の人などが集まり、悩みごとの相談や情報交換をする場のこと。孤立を防ぐことなどを目的に市民団体等により定期的に開設されている。

※3 上下水道事業経営戦略の中期改定・・・10年間(令和3年度から令和12年度)の計画期間を前期・中期・後期に区分しており、今回の改定は中期(令和6年度から令和8年度)へ移行する時点のもの。

※4 ウォーターPPP・・・PPPとは公共施設等に民間の知恵と資金を活用する手法。ウォーターPPPは、水道・下水道・工業用水道の分野を対象にした官民連携のこと。

TOPICS

近隣市議会から学ぶ 議会改革の取り組み

10月7日、小郡市議会の田中雅光議会運営委員長、筑紫野市議会の辻本美恵子副議長、古賀市議会の奴間健司議会運営委員長を講師に招き、それぞれの市議会での議会改革の取り組みをご紹介いただきました。

取り組みにあたっての心構えから具体的な内容まで、示唆に富んだお話しでした。

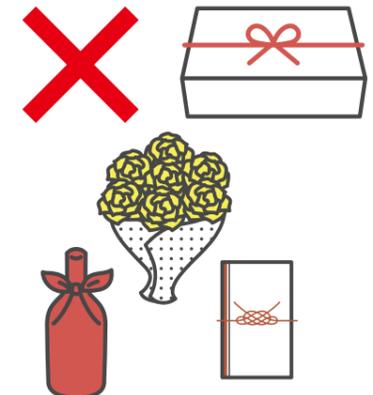


議員の寄付は禁止 贈らない・求めない・受け取らない

公職選挙法により、議員が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは、特定の場合を除いて禁止されています。また、有権者が議員に対して寄付や贈り物を求めることも禁止されています。

●禁止されている寄付の例

1. お歳暮・お年賀・お中元
2. 地域の運動会・スポーツ大会への飲食物等の差し入れ
3. 自治会の集会・旅行等の催物への寸志・飲食物の差し入れ
4. お祭りへの寄付・差し入れ
5. 入学祝・卒業祝
6. 落成式や開店祝等の花輪
7. 病気見舞
8. 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝
9. 本人以外が代理で出席する場合の葬儀の香典
10. 葬儀の花輪・供花



- ・本人が出席する場合の結婚祝や葬式・通夜の香典は、選挙に関してなされたものでなく、通常一般の付き合いの程度を超えないものであれば禁止の対象となりません。
- ・政党その他の政治団体や親族に対するもの、政治教育のための集会等に関し、やむを得ない実費の補償(食事や食料の提供を除く)は禁止の対象となりません。
- ・議員の後援団体による寄付や、議員が役員や構成員である団体・会社が議員の氏名を表示又は類推される方法で寄付することは、禁止されています。

●年賀状等のあいさつ状の禁止

議員は、選挙区内の人に対して、返礼のための自筆によるものを除き、年賀状や暑中見舞い等の時候のあいさつ状(電報等も含む)を出すことは禁止されています。



問い合わせ先：選挙管理委員会事務局 TEL 0942-30-9238 FAX 0942-30-9752 寄付の禁止について

学生さんと
久留米ばなし!

なぜなぜ 学生さん



久留米工業高等専門学校
(前列左から)

平原 綾馬さん
(材料システム工学科4年)

大野 健臣さん
(材料システム工学科4年)

今津 有瑛さん
(生物応用化学科3年)

議会広報委員会(後列左から)

吉武 憲治 委員

生野 薫 委員

古賀 としかず 委員

学生と市議会議員が なぜなぜ 久留米トーク /

NGも付度もなしのトーク会。双方が、本音で語り合う久留米での生活。その一部をご紹介します。今回は、久留米工業高等専門学校(高専)の皆さん。

久留米高専って、どんな学校?

- 1年生から実験や実習がたくさんあって、色々なことを学べるのが良い。
- 全国でも珍しい学科があって、それが自分のやりたいことだった。だから久留米高専を選んできました。

皆さん市外の出身ですが、久留米に来てみて、どうですか?

- 食べ物がおいしい。焼き鳥のお肉が大きくて、しかも安い。
- 地元の人の久留米愛が凄い。びっくりした。

議員からは

確かに久留米の人は地元愛が強い。離れていても久留米を盛り上げようとしてくれる。災害の時には、駆け付けてくれたり、寄附をしてくれたり。本当にありがたいです。

今後、久留米がどうなるといい?

- 学校で専門的に学んだことを生かせる企業が、久留米や九州に増えれば、関東や関西に行かなくてもよくなるのにな、と思う。

議員からは

希望をもって久留米に来てくれた皆さんに、卒業した後も住み続けてもらえるように、議会も一緒に取り組んでいきます。

編集後記

今号の特集記事では、令和5年度の決算審査特別委員会の様子や、将来のまちづくりの担い手である子どもや若者たちの声を聞くことの大切さについて考えてみました。

是非、皆様からの率直なご意見やご感想をお寄せください。これからも市民の皆様の声を議会に反映させていただきます。 議会広報委員会

今号の表紙



表紙は、特集記事に関連して、子どもの声を聴いている場面をイメージして撮影しました。親子(子どもと大人)がリラックスした雰囲気の中、いろいろな話をしている様子を撮影しています。一人ひとりの子どもや若者の思いや夢が言葉の糸となって、それが明るい未来を紡いでいくのでしょう。

次回定例会の案内

市議会の本会議は、どなたでも傍聴できます。市役所20階の傍聴席までお越しください。本会議が始まる時刻は、午前10時の予定です。

ライブも録画も配信中 /

本会議の内容は、久留米市議会ホームページの「インターネット議会中継」でもご覧いただけます。



議会中継

12月定例会(予定)

月	火	水	木	金	土	日
11/25	26	27	28 本会議 (提案説明)	29	30	12/1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12 常任委員会 (教育民生・建設)	13 常任委員会 (経済・総務)	14	15
16	17	18 本会議 (採決等)	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

※日程は都合により変更されることがあります。

市議会だよりを讀んでのご意見、ご感想をお寄せください

発行: 久留米市議会 編集: 議会広報委員会 / 久留米市城南町15番地3

TEL.0942(30)9305 / FAX.0942(30)9720 / E-mail gikai@city.kurume.lg.jp

「市議会だよりくめ」は、環境に配慮した再生紙を利用しています。 ご意見等はこちらからも投稿できます▶

